

執筆者一覧

(50音順)

氏名	所属・職位	専門分野
天野 ゆかり	本学社会福祉学科・助教	介護福祉学
石垣 範子	本学看護学科・助教	老年看護
大石 桂子	本学社会福祉学科・助教	介護福祉学
北爪 宏幸	SBS 静岡健康増進センター	放射線学、検査学
木林 身江子	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
栗田 有紀子	SBS 静岡健康増進センター	生活習慣病
古賀 震	本学看護学科・教授	内科学、血液学、 感染症、腫瘍免疫
佐橋 徹	SBS 静岡健康増進センター	産科、婦人科学、 生活習慣病
鈴木 俊文	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
高久 悟	埼玉県立大学	歯科学
遠山 和成	SBS 静岡健康増進センター	外科学、乳腺外科、 生活習慣病
野口 有紀	本学歯科衛生学科・准教授	公衆衛生学
長谷川 純	SBS 静岡健康増進センター	放射線学、検査学
濱口 晋	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
比留間 洋一	静岡県立大学大学院国際関係学研究科	ベトナム地域、 文化人類学
廣田 こずえ	SBS 静岡健康増進センター	看護学、保健学
深江 久代	本学看護学科・教授	老年看護
福山 和恵	SBS 静岡健康増進センター	検査学
松平 千佳	本学社会福祉学科・准教授	対人援助
向笠 栄乃	SBS 静岡健康増進センター	生活習慣病
吉田 隆	埼玉県立大学	臨床歯科医学

業績一覧

各学科等ごと、50音順に掲載
(2015年1月～12月)

一般教育等

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
林 恵 嗣	「6. ヒトと環境 ㊟高温環境」	『人間科学の百科事典』（丸善出版）p.287-288 2015年1月	単著
	"Ventilatory response to increasing body temperature: characteristics and effect on central fatigue"	<i>The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine</i> . 4(2): p.143-149 2015.	単著
	"Effect of rising body temperature on respiratory chemosensitivity to CO ₂ "	<i>Extreme Physiology & Medicine</i> . 4(Suppl.1): A152, 2015	共著
	「食事摂取が呼吸化学感受性に及ぼす影響」	『体力科学』64(6) p573, 2015	共著

看護学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
影山 葉子	「家族への退院支援に関する国内文献レビュー（第1報）－退院における家族への意思決定支援に焦点を当てて－」	『家族看護学研究』 Vol.20(2) p.93-105 2015年3月	共著
	「家族への退院支援に関する国内文献レビュー（第2報）－退院調整看護師に関するこれまでの研究と家族への退院支援に関する今度の研究課題－」	『家族看護学研究』 Vol.20(2) p.106-116 2015年3月	共著
	「家族への意思決定支援における看護実践の倫理－退院調整看護師の実践から－」	『日本看護研究学会雑誌』 Vol.38(3) p.144 2015年7月 http://www.jsnr.jp/information/38_3.pdf	共著
	「退院調整看護師の代理意思決定者としての家族の捉え方に関する1事例検討」	『第35回日本看護科学学会学術集会講演集』 p.212 2015年12月	共著
古賀 震	「時間経過と共に採血直後減少していた血小板数が徐々に改善した症例の検討」	『日本血栓止血学会学誌』 26 (2) p252 2015年	共著
	「採血からの時間経過に伴い血小板数が正常化した症例」	『第14回 TTM フォーラム記録』 p19-24 2015.2.6.	共著
	「難解な医学教育（解剖生理学、医学一般、病態と治療学）などの講義・授業をわかりやすく楽しく理解・記憶させる学習法の開発」	『US フォーラム 2015』 p193 2015年9月	共著
	「静岡県立大学・静岡県立大学短期大学部における感染症（小児感染症、B型肝炎、季節性・新型インフルエンザ）に対する現状の調査と感染症予防策に関する研究」	『US フォーラム 2015』 p31 2015年9月	共著
	「静岡県立大学短期大学部 健康支援センター活動報告 2014」	『静岡県立大学短期大学部（小鹿キャンパス）健康支援センター活動報 2014』（2014.04-2015.03）, 2015.07	共著
	「脱水を簡単に推察できる新しい紙オムツの開発」	『ファルマバレープロジェクト新技術説明会（New Technology Presentation Meetings!）予稿集』（科学技術振興機構（JST）） p27-32 2015年6月	単著
	「生活習慣改善による血圧コントロールに関する研究」	『SBS 静岡健康増進センター平成26年度年報』 p56 2015年12月	共著
	「生活習慣改善による骨密度変化に関する研究」	『SBS 静岡健康増進センター平成26年度年報』 p57 2015年12月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
深江 久代	『2016年版 保健師国家試験問題解答と解説』	医学書院 (p4-12, 16-20, 146-153, 180-183) 2015年4月	共著
	「介護老人保健施設での老年看護実習において実習指導者が学生に学んで欲しいと考える老年看護とは」	『USフォーラム 2015』 p63 2015年9月	共著
前野 真由美	「外国人のための無料健康相談と検診会 - 検診結果報告 - 」	『外国人のための無料健康相談と検診会 - 第17回報告集 - 』 p8-16 2015年3月	共著
	「外国人のための無料健康相談と検診会 - 検診会受診者アンケート - 」	『外国人のための無料健康相談と検診会 - 第17回報告集 - 』 p17-19 2015年3月	単著

歯科衛生学

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
有泉 祐吾	「歯科臨床の基礎と概論」	『クインテッセンス出版』2015年4月	共著
	「歯科衛生士養成教育における学生の就学実態からみた学生支援に関する検討—就学状況と学生支援の現状—」	『日本歯科医学教育学会雑誌』Vol.31(2) p.55-63 2015年8月	共著
	「A市で実施する育児学習会における対象・方法・項目の地域間比較による検討」	『日本公衆衛生雑誌』Vol. 62 (10) 特別付録 第74回日本公衆衛生学会総会抄録集 p.330 2015年10月	共著
	「歯科衛生士養成教育における学生の就学実態からみた学生支援に関する検討—支援対策による効果・影響—」	『第34回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集』p156 2015年7月	共著
	「小学校低学年児童における永久歯齲蝕と第二乳臼歯齲蝕経験および家族の世代構成との関連」	『第10回日本歯科衛生学会雑誌』Vol. 10 (1) p.108 2015年8月	共著
木林 美由紀	「咀嚼力向上を目指した食育支援プログラムの効果に関する研究」	『日本口腔衛生学会誌』Vol. 65 (1) p.10-16 2015年1月	単著
	「よい歯でよく噛み元気なからだ～咀嚼やく力育成を目指した食育支援プログラムの効果～」	『学校の食事』2015 05 p.19-26 2015年5月	単著
	「咀嚼力と摂食野菜の種類および調理法との関連性」	『小児歯科学雑誌』53巻2号 p.289 2015年5月	単著
	「咀嚼力育成を目指した食育支援プログラムの運動能力に対する有効性」	『口腔衛生学会誌』65 (2) p.209 2015年5月	単著
	“Effect of Food Education Support Program of using ‘Chewin’ Donuts! “	8TH ACOHPSC p.61 2015.9	単著
	「咀嚼力と運動能力との関連性」	第79回全国学校歯科保健研究大会 p.37 2015年10月	単著
	「食育支援における咀嚼力の育成に影響を及ぼす摂取野菜の種類および調理法」	『平成26年度研究報告概要集』(旗影会) p.16 2015年12月	単著
鈴木 温子	「長寿の鍵は口にあり～口腔ケア最前線～」	『静岡県立大学公開講座要旨』第4回 p. 1 - 8 2015年10月	単著
中野 恵美子	『ウィルキンス 歯科衛生士の臨床 原著第11版』(訳)	医歯薬出版 (p.847-858) 2015年7月	共著
	「園児の乳歯う蝕と家族の世代構成との関係」	『口腔衛生学会雑誌』Vol. 65 (2) p.203 2015年4月	共著
	「小学校低学年児童における永久歯齲蝕と第二乳臼歯齲蝕経験および家族の世代構成との関連」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol. 10 (1) p.108 2015年8月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
中野 恵美子	「A市で実施する育児学習会における対象・方法・項目の地域間比較による検討」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol. 62 (10) 特別付録第74回日本公衆衛生学会総会抄録集 p.330 2015年10月	共著
中村 和美	「臨地実習における針刺し切創事故防止を目的とした動画教材の作製と教育効果についての検討」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.10 (1) p.94 2015年8月	共著
野口 有紀	“Association Between Caregivers’ Oral Health Literacy and Children’s Oral Health”	『IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition』 https://live.blueskybroadcast.com/bsb/client/_new_default.asp?action=SEARCH&Client=404900 2015.3.11-14	共著
	「かかりつけ歯科医を持つ母親と3歳児に対する口腔保健行動との関連」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol. 10 (1) p.107 2015年8月	共著
	健康寿命日本一静岡県で「お達者度」上位地域高齢者の健康要因に関する悉皆調査研究概要	『日本学術振興会 特別研究分野の研究代表者交流会平成27年度研究概要(ネオ・ジェロントロジー)』 2015年9月	共著
	「歯科衛生士のフッ化物配合歯磨剤の使用方法に関する保健指導の横断調査」	『USフォーラム2015』 p.107 2015年9月	共著
	「女性の健康関連ライフスタイル10年間の変化 - 黒石市、中野市、豊見城市の地域比較 -」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol. 62 (10) p.233 2015年10月	共著
	「女性の日常的症状の経験とネットによる健康情報希求行動との関連: 本邦3地域調査から」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol. 62 (10) p.299 2015年10月	共著
	「主観的階層帰属意識と歯科保健行動との関連」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol. 62 (10) p.418 2015年10月	共著
森野 智子	「介護福祉施設における電動歯ブラシ使用の口腔衛生と介護負担に関する効果」	『第12回日本口腔ケア学会学術大会抄録集』 p183 2015.6	共著
	「健康寿命延伸に寄与する歯科保健推進プログラムの検討を目的としたグループミーティングの実践に関する研究」	『静岡県立大学 経営情報イノベーション研究』 Vol.4 p.1-13 2015.10	共著
	「臨地実習における針刺し切創事故防止を目的とした動画教材の作製と教育効果についての検討」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.10(1) p.94 2015.8	共著
	「介護保険施設における残存歯と喪失歯の推移の報告」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.10(1) p.135 2015.8	共著
	「静岡県の市町における歯科衛生士雇用状況調査の結果と考察」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.10(1) p.157 2015.8	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
山本 智美	「臨地実習における針刺し切創事故防止を目的とした動画教材の作製と教育効果についての検討」 「健康寿命延伸に寄与する歯科保健推進プログラムの検討を目的としたグループミーティングの実践に関する研究」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.10(1) p.94 2015年 8月 『経営情報イノベーション研究』Vol.4 p.1-13 2015年 10月	共著 共著

社会福祉学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
天野 ゆかり	「ベトナム看護史についての覚書：ベトナム看護協会会長提供の資料を中心に」	『国際関係・比較文化研究』第14巻第1号 p.79-104 2015年9月	共著
	「円背のある高齢者に対する仰臥位のポジションングー円背用ピロー使用による効果ー」	『第23回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集』 p.90 2015年9月	共著
	「外国人介護人材の受入れー「アジアの介護」をとともに学び合うー」	『地域ケアリング』Vol. 17No13 p.30-35 2015年12月	単著
漁田 俊子	「保育士養成新カリ「保育実習指導と保育実習」評価方法の構築3」	『日本保育会第68回大会発表論文集』 p. 626 2015年5月	共著
	「再認におけるビデオ文脈依存効果の再検討」	『日本認知心理学会第13回大会発表論文集』 p.45 2015年7月	共著
	「自由再生における環境音脈依存効果に及ぼす手がかり負荷の影響」	『日本認知心理学会第13回大会発表論文集』 p.46 2015年7月	共著
	「再認における匂い文脈依存効果におよぼす学習時間の影響」	『日本認知心理学会第13回大会発表論文集』 p.118 2015年7月	共著
	「偶発的背景情報による対連合学習促進効果」	『日本心理学会第79回大会発表論文集』 p.827 2015年9月	共著
	「A市で実施する育児学習会における対象・方法・項目の地域間比較による検討」	『日本公衆衛生雑誌』Vol. 62(10) 特別付録第74回日本公衆衛生学会総会抄録集 p.148 2015年10月	共著
奥田 都子	「男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス」	『保育と家庭支援論』（学文社）p.45-54 2015年1月	単著
佐々木 隆志	『高齢者のクラフトサロン ② 季節のリハビリクラフト12か月』	誠文堂新光社 2015年3月	共著
鈴木 俊文	「福祉施設における災害対応研修モデルの開発に向けた取り組みー震災ケースメソッドを活用した災害過程アセスメントシートの効果と課題ー」	『介護福祉教育』第20巻第1号 p84-88 2015年2月	共著
	「脳血管障害がある高齢者の事例（介護老人福祉施設）」	『高齢者ケアの質を高めるICFを活かしたケアプロセス』（学文社）p197-206 2015年2月	共著
	「認知症介護実践者研修での学び・気づきと現場での活かし方ー滋賀県の研修修了者へのインタビュー調査を通してー」	『日本認知症ケア学会誌』Vol.14(1) p285 2015年4月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
鈴木 俊文	「認知症介護実践者研修での学びを活用できる促進要因と活用できない阻害要因について－研修修了者へのインタビュー調査を通して－」	『日本認知症ケア学会誌』 Vol.14 (1) p 285 2015年4月	共著
	「質的研究の進め方」	『第11回日本福祉大学夏季大学院公開ゼミナール受講の手引き』 p103-114 2015年7月	単著
	「認知症のある利用者への対応」	『真・介護キャリア』 Vol11 (6) 日総研 p51-62 2015年1月	単著
	「介護福祉士の専門性・実践力を探求する－ディープスマート（経験知・暗黙知）を研究する介護福祉士たちの挑戦－」	『第22回日本介護福祉士会全国大会 in みえ』 p83 - 95 2015年12月	単著
高木 剛	「ドイツにおける介護・看護分野の補助職（Helfer）養成制度の再編－ニーダーザクセン州の例を中心に」	『社会事業研究』 第54号 p81-84 2015年2月	単著
	「メクレンブルク・フォアポンメルン州におけるKranken-und Altenpflegehelferの養成制度」	『社大福祉フォーラム 2015』 p29-30 2015年6月	単著
	「ドイツにおける新たな介護・看護人材養成制度の導入に向けた動き－連邦州ワーキンググループによる報告書（草案）の内容を中心に」	『介護福祉教育』 第20巻第2号 p72-78 2015年9月	単著
立花 明彦	「福祉施設における災害対応研修モデルの開発に向けた取組み－震災ケースメソッドを活用した災害過程アセスメントツールの効果と課題－」	『介護福祉教育』 第20巻第1号（通巻第38号） p.84-88 2015年2月	共著
	「米国・韓国における障害者への図書館サービス－障害者差別禁止法制定後の動向を中心に－」	『日本図書館研究会 第56回研究大会 予稿集』 p.44-51 2015年2月	共著
	「ハンセン病盲人と点字習得－大島青松園盲人会の実践とその考察－」	『国立ハンセン病資料館 研究紀要』 第5号 p.57 -70 2015年3月	単著
	「読む自由と合理的配慮－日図研の自負」	『図書館界』 第67巻第1号（通巻382号） p.22-23 2015年5月	単著
	「米国・韓国における障害者への図書館サービス－障害者差別禁止法制定後の動向を中心に－」	『図書館界』 第67巻第2号（通巻383号） p.106-115 2015年7月	共著
	「障害者差別解消法施行を前に期待されるなごや会会員の行動」	『なごや会会報』 第42号（電子版） 2015年9月	単著
	『本間一夫と日本盲人図書館－本間一夫生誕百年記念出版－』	日本点字図書館 2015年10月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
中澤 秀一	『変化の中の国民生活と社会政策の課題』	中央大学出版部 (p.147-163) 2015年3月	共著
	「続・若手組合員は労働組合をどうみているのか―聞き取り調査から見出されたこと」	『労働総研クォーター』(労働運動総合研究所) No.98 p.45-51 2015年4月	共著
	「新たな最低生計費調査の実施に向けて」	『所報』(静岡県労働研究所) 第28号 p.35-45 2015年4月	単著
	「社会保障政策」	『日本労働年鑑』(旬報社) 第85集 p.414-424 2015年6月	単著
	「現代の若者の意識と行動―組織化に向けての課題」	『月刊全労連』 No.222 p.1-11 2015年7月	単著
	「ディーセントワークの概念に関する研究」	『USフォーラム2015』紙面およびポスター発表(静岡県立大学) p.68 2015年9月	単著
	「特集にあたって(【特集】社会保障・税一体改革後の医療・年金・子育て支援政策)」	『大原社会問題研究所雑誌』 685号 p.1-4 2015年11月	共著
庭野 晃子	「子どもをもつ共働き夫婦の「対等性」に関する質的研究～夫婦が対等関係を維持していくメカニズム～」	『社会福祉科学研究』(社会福祉科学研究所) 第4号 p175-185 2015年7月	単著
	「保育士養成新カリ「保育実習指導」と「保育実習」評価方法の構築Ⅲ」	『日本保育学会第68回大会発表要旨集』 p.626 2015年5月	共著
	「新任保育者の早期離職に関する調査Ⅱ」	『日本保育学会第68回大会発表要旨集』 p.629 2015年5月	単著
	「新任保育者の早期離職に関する調査Ⅲ～東海地区と関東地区の調査結果の比較検討～」	『静岡家族問題研究会 会報』 No.206 2015年12月	単著
松平 千佳	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストが行うプレイ・プレパレーションの実際とディストラクションの効果」	『第4回日本小児診療多職種研究会(北九州国際会議場)抄録集』 P.188 2015年7月	単著
	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストとの協働から生まれる可能性 日本におけるこれまでの取り組みを踏まえて」	『第39回日本血液事業学会総会(大阪国際会議場)抄録集』 P.389 2015年10月	単著
	「子どもが喜ぶ!ディストラクションツールの作り方と使い方 治療に対する病児の主体的なかかわりを促すホスピタル・プレイの技術-ディストラクション」	『こどもケア』日総研出版 9(6) p.47-49 2015年2月	単著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
山本学	「保育現場における音楽劇・オペレッタの教育的意義の考察-K子ども園でのフィールドワークと五領域の比較から-」	『保育の実践と研究』 vol.19(4) p.41-51 2015年3月	単著
	「こどもスポーツに関する基盤構築のための研究開発」	『東京女子体育大学女子体育研究所所報』 第9号 p.23 - 64 2015年3月	共著
	「バスティン・メドレー」	東音企画出版（メッセ）2015年6月	単著

平成 27 年度：外部資金採択一覧

■科学研究費補助金等

<新規>

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額 (円)
基盤研究 (C)	研究代表者	一般教育等・講師	林 恵 嗣	暑熱下運動時における熱中症予防と運動パフォーマンス改善策の検討 (2015年4月1日～2018年3月31日 (予定))	1,430,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	佐々木 隆志	日本における訪問介護事業所の終末ケア全国実態調査研究 (2015年4月1日～2019年3月31日 (予定))	780,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	江 原 勝 幸	参加型地域防災教育・活動による災害時要援護者の住民支え合い支援体制モデルの確立 (2015年10月21日～2019年3月31日 (予定))	1,430,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	松 平 千 佳	ホスピタル・プレイから導くハイリスク児を対象にした遊育理論確立のための調査研究 (2015年10月21日～2019年3月31日 (予定))	780,000
基盤研究 (C) 特設分野	研究代表者 研究分担者	歯科衛生学科・准教授 歯科衛生学科・教授	野 口 有 紀 吉 田 直 樹	健康寿命日本一静岡県で「お達者度」上位地域高齢者の健康要因に関する悉皆調査 (2015年7月10日～2019年3月31日)	1,560,000

<継続>

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額 (円)
基盤研究 (A)	研究分担者	一般教育等・講師	林 恵 嗣	暑熱下運動時における熱中症発症の新メカニズムの検証と新予防法の提案	500,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・助教	庭 野 晃 子	新人保育士の退職防止に関する研究 (2014年4月1日～2018年3月31日 (予定))	780,000
基盤研究 (C)	研究代表者	歯科衛生学科・准教授	野 口 有 紀	養育者のオーラルヘルスリテラシーが3歳児の口腔健康に与える影響についての横断研究 (2013年4月1日～2016年3月31日 (予定))	1,430,000
基盤研究 (C)	研究分担者	歯科衛生学科・准教授	野 口 有 紀	公的団地居住高齢者への運動・栄養・口腔複合介入プログラムの検証 (2014年4月1日～2017年3月31日 (予定))	455,000

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究(C)	研究分担者	社会福祉学科・教授	漁田俊子	さまざまな環境情報が引き起こす文脈依存再認の包括的な説明原理の実証的探究(2013年4月1日～2016年3月31日(予定))	200,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	中澤秀一	現代版マーケット・バスケット方式による最低生計費の実証的研究(2014年4月1日～2018年3月31日(予定))	550,000
基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	社会福祉学科・講師 社会福祉学科・准教授 社会福祉学科・講師	鈴木俊文 立花明彦 濱口晋	介護施設における「災害過程」対応教材・研修プログラムの開発(2012年4月1日～2016年3月31日(予定))	1,300,000
挑戦的萌芽研究	研究代表者	看護学科・助教	影山葉子	家庭と「折り合いをつける」退院調整看護師の実践知の記述的研究(2013年4月1日～2016年3月31日(予定))	520,000
挑戦的萌芽研究	研究分担者	看護学科・助教	影山葉子	身体フェミニズム理論の構築－性暴力批判と女性の具体的なエンパワメントに向けて－(2014年4月1日～2017年3月31日(予定))	65,000

■その他の研究助成

研究者区分	所属・職名	氏名	研究助成者	研究課題・期間	助成金額(円)
研究代表者	看護学科・助教	影山葉子	公益財団法人 上廣倫理財団	家族の意思決定を支援する退院調整看護師実践知に関する研究(2014年1月～2015年12月)	1,200,000
研究代表者	歯科衛生学科・准教授	木林美由紀	公益財団法人 ふじのくに 地域・大学 コンソーシアム	共同公開講座 よく噛んで、美味しく食べて、元気なからだ - 咀嚼くが創る健康長寿 -	310,000
研究代表者 研究分担者	歯科衛生学科・教授 歯科衛生学科・講師	吉田直樹 森野智子	株式会社テク ノスルガ・ラボ	歯周病発症・重篤化リスク判定のための歯周病菌の菌株識別技術の研究・開発	500,000
研究代表者	歯科衛生学科・講師	森野智子	フィリップ [®] スエレクトロニクスジャパン	介護現場における介護労働者の負担軽減に向けた電動歯ブラシを用いた口腔ケアプログラムの検討(2014.11.18～2016.10.31)	1,500,000
研究代表者	社会福祉学科・講師	鈴木俊文	社会福祉法 人 会 翠	受託研究事業『個別ケア推進・人材育成循環型「施設ケアマネジメントシステムモデル」の開発(平成27年4月～28年3月まで)』	240,000

研究者区分	所属・職名	氏名	研究助成者	研究課題・期間	助成金額(円)
研究代表者	社会福祉学科・講師	山本学	佐賀県玄海町	玄海みらい学園校歌制作	210,000

■奨学寄付金

研究者区分	所属・職名	氏名	寄付申込者	研究課題・期間	寄付金額(円)
奨学寄付金	看護学科・教授	古賀震	公益財団法人 SBS静岡増進セ ンター 理事長	血液検査および画像データと 臓器障害(特に肺、腎、肝など) の病態解析に関する研究	660,000
研究代表者	社会福祉学科・助教	天野 ゆかり	公益社団法人 全国老人福 祉施設協議会	「技能実習制度によるベトナム人介護人材の戦略的受入れ に関する基礎研究」	448,000

静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則

平成 21 年 7 月 1 日 細則第 40 号

改正 平成 23 年 1 月 11 日、平成 26 年 1 月 29 日

(目的)

第1条 本学における学術研究（調査などを含む。）の成果を発表するために、静岡県立大学短期大学部研究紀要（以下「紀要」という。）を刊行する。

(原稿の種別)

第2条 紀要に掲載する研究成果は、次のものとする。

- (1) 未発表（口頭発表を除く。）の研究論文、調査報告、短報など
- (2) 総説、資料など
- (3) 発行年度 12 月末までの 1 年間の研究成果で、紀要以外に発表したものの一覧
- (4) その他図書館・紀要委員会（以下「委員会」という。）が掲載の必要を認めたもの

(投稿者の資格)

第3条 紀要に研究成果を発表する資格を有する者は、次の者とする。ただし、本学専任教員との共同執筆の場合はこの限りではない。

- (1) 本学の専任教員
- (2) その他委員会で認められた者

(刊行)

第4条 冊子号は、原則として毎年度 1 回、3 月末日までに刊行する。

(原稿の作成)

第5条 原稿は、別に定める執筆要領を基本として作成する。

- (1) 冊子号の原稿提出にあたっては、原稿本文に原稿を保存した電子媒体を添付する。Web 号原稿は、PDF ファイル形式で提出する。
- (2) 委員会は、執筆者に原稿の加除修正を求めることができる。

(原稿の受理)

第6条 紀要の原稿の受理は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の受理は、図書館・紀要委員会委員長が総括する。
- (2) 受理日付を記載する。
- (3) 締切り月日は、委員会の指定する日とし、同日より後の受理原稿は、次年度に掲載する。
- (4) Web 号の原稿は、完成された投稿原稿のみを受理する。

(編集)

第7条 冊子号の編集は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の掲載順は、原稿受理順とする。
- (2) 校正は、原則として執筆者が行う。
- (3) 印刷部数は、発行の都度必要に応じて委員会で決定する。

2 Web 号紀要の原稿の掲載順は、原稿受理順とする。

(配布)

第8条 冊子号の配布は次のとおりとする。

(1) 贈与

次の者に、紀要の本冊ないし抜き刷りを贈与する。

- ①執筆者 本冊1部、抜き刷り 50 部
- ②本学専任教員 本冊 1 部
- ③その他紀要委員会で認めた者

(2) 交換

内外の諸研究機関と紀要、研究誌の交換を行う。

(3) 頒布

- ①頒布希望者には、部数に余裕のある場合に限り、本冊を頒布する。
- ②論文執筆者が、本条 (1) の①を超えて本冊又は抜き刷りをあらかじめ請求するときは、実費を本人負担のうえで増刷する。

(保管)

第9条 紀要の保管は、図書館で行う。

(倫理的配慮)

第10条 人及び動物を対象とした研究については、倫理的に配慮した旨を本文中に明記しなければならない。

(著作権)

第11条 掲載論文の著作権は、著者に帰属する。ただし、著者は、静岡県立大学短期大学部が投稿論文を印刷物として発行し、Web 上で公開することを許諾する。

附 則

(施行期日)

- 1 この細則は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。
(静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則の廃止)
- 2 静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則 (平成 19 年 4 月 1 日 細則第 53 号) は、廃止する。

附 則

この細則は、平成 23 年 1 月 11 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 26 年 1 月 29 日から施行する。

